

なすび

第29号

目次

1p~2p	1年目の決意
2p~3p	行事報告
3p~4p	部活動報告
4p	番外編
	今後の予定
	編集後記

栃木県那須学園
〒329-2132
矢板市沢800
TEL 0287-43-0573
FAX 0287-43-6886
メール nasu-gakuen
@pref.tochigi.lg.jp
発行日 平成30年10月30日

今年度も多くの先生方が那須学園へやってきました。初めて児童自立支援施設で働く先生方から「一年目の決意」をいただきました。

○川島陽子（総務課）

四月に異動により赴任して半年が経ちました。年度当初は事務量が結構あって、訳もわからずに処理をしなければならぬ状況でしたが、最近はいろいろ考えながら、理解しながらできるようになりました。事務職員が一人という状況で、自分のしていることがこれでいいかの確認がすぐにできないことが不安ではあります。これから勉強していきたいと思えます。

前半は大きなミスもなく、なんとか無事にここまでこられたので、後半も引き続き気を引き締めて皆さんにご迷惑をかけぬよう仕事ができたらと思えます。今後ともどうぞよろしくお願ひします。

○石口謙（男子一寮）

那須学園に配属になり半年が経ちました。はじめは自分も子供達も互

いに戸惑いがあり、たどたどしく話しかけていきましたが、最近は少しましになってきたかと思っています。

当初は子供達の言動、行動にどう関わっていいのか皆目見当がつかず先輩職員方の指導を見ながらただただ感心しているだけでした。今は背伸びして指導することを考えず、子供達の良い行動、言動を見つけたら褒めることを目標に一緒に過ごしていきます。

それにして子供達の学習力、成長力には驚かされます。不安そうにして入寮してきた子供がいつの間にか自信のある眼になっていくのを見ていて、こんなにも嬉しいものなのだと自分でも驚いています。自分も少しずつ成長し、子供達の将来のために少しでも手助けが出来るよう頑張っていこうと思えます。

○齋藤榮壽（男子二寮）

那須学園に勤務して半年が経ちます。それぞれの理由で那須学園に集まった子供達の奮闘振りを毎日目の当たりにしています。その姿は次のような言葉で表現できます。元気旺盛、健気、忍耐、従順、反抗、屈折、鬱積、稚拙、起伏、軽率、粗雑 等。

どちらかというと、マイナスイメージの言葉の方が多くなってしまいました。

しかし、どんな境遇にあっても現実を認め、自分の人生を切り開いて欲しいものです。そんなことを考えるとき頭に浮かぶのは、某女子大理事長の渡辺和子さんの「置かれたところで咲きなさい」という言葉です。二・二六事件の時、彼女は九歳で、目の前でお父さんが銃で撃たれ、肉片が飛び散り白い骨が見えたそうです。

子供達が、置かれたところで咲けるように、微力ながら尽力したいと思っています。

○星敬（沢分校）

沢分校に新任教頭として赴任して半年が過ぎました。この半年は、とても中身が濃いものでした。四月の初めから、何をやっていいのかかわからない日々が続く、周りの職員に迷惑をかけていました。でも、そんな私を温かく見守り、助けていただいたことを感謝しています。

そこで、私がこの一年やっていきたいことは、新旧の職員をつなぐこと一つのチームを作ることです。分

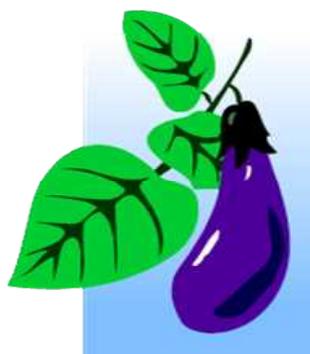
校職員は入れ替わりが早く、生徒に対する対応の仕方などの仕事の内容がわかった頃に異動になってしまいます。新旧の職員が一緒に一つの仕事をを行い、仕事の仕方を伝えていくことです。また、隣の人が行っている仕事内容も理解して、いざというときに対応できるようにするチームワークが必要です。児童生徒の成長のために、点から線、線から面に対応できるチームを作れるように心がけたいです。

○植木香織（沢分校）

「一列、無言で移動しましょう。」「前の人との間が足下の石畳何枚分か確認して下さい。」「寮から長靴は履かずに手持ちで準備してきて下さい。」「黙って挙手して下さい。プリントが三枚用意してあります。」

丁寧な指示、細やかな注意、入念な準備、静寂の中の作業。授業。行事。

先生方の仕事を落ち着いて見、まねようと自分なりに考えてなんとか動けるようになるまでに半年が過ぎ



てしまいました。今でも平日は二二時には爆睡してしまいます。

この年になって、こんなに多くの初めてを経験することのできるこの場所で働けることに感謝し、日々助けていただいている皆様方への恩に報いたいと考えている毎日です。

○君島剛（沢分校）

一〇数年以上前那須学園の生徒とバレーボールの練習試合のため体育館へ数回お邪魔しました。当時の思い出は「元気がよく、声の大きな生徒たち。」という記憶が残っています。四月からその沢分校への異動を命じられ、驚きが一番でした。学校が始まり、生徒たちとの生活が一日一日過ぎるたびに、驚きや新たな発見があり気がつくとい日が終わっていました。

半年が過ぎた今でもまだまだ慣れないことばかりですが、様々な人に支えられ、生徒たちから元気をもらいながら日々を送っています。「やらなければならぬこと。」に追われ、「やるべきこと。」を振り返り、じっくりと考える余裕はまだありませんが、一日も早く分校職員として自立できるよう努力していきたいと思えます。

○坪上文彬（沢分校）

沢分校で半年を過ごさせていただき、今一番に感じているのは、「二校目が沢分校で良かった」というこ

とです。初任校で学んできたこと、やってきたことは多くありますが、それだけでは駄目であることを痛感しています。生徒一人一人を本当によく観察して対応しなければいけないことや、こちらがどれだけ準備をするかで生徒の反応が変わってくることに、イレギュラーが起こった時の教員側の対応の仕方など、勉強になることが沢山あります。沢分校に来る直前、前任校で「那須学園での経験は必ず今後に活かされるよ」という言葉の意味が少しずつ分かってきたような気がします。

この学校では、他の学校以上に生徒の日々の成長を感じることが出来ます。まだまだ難しいことばかりではありますが、自分も日々改善を目指して頑張りたいです。

☆行事報告☆

☆流しそうめん会

七月一八日

夏休み前の分校最後の日、那須学園名物の流しそうめんが今年も行われました。長い竹を半分に分けて、その竹に水を流しながら一緒にそうめんを流していきます。

そのそうめんを流す量は筆者が任されていたのですが、「もつとたくさん流してください！」や「おおう！たくさん流れてきたー！」という子

供達の喜ぶ声を聞きながら楽しく流していました。竹の準備を丁寧に教えて下さった園長先生、美味しいムンぶらを揚げて下さったランクルームの皆さん、本当に協力ありがとうございました。

☆海浜宿泊学習

七月一九～二〇日



七月一九日、二〇日に栃木海浜自然の家にて宿泊学習が行われました。出発式の前から、生徒達がわくわくして過ごす姿が印象的でした。最初の活動である海浜ウォークラリーでは、自分達で回る順番を考えながら、意欲的に課題に取り組むことが出来ました。夜の花火では、ルールを守り安全に楽しむことができていました。初日は施設内でのみの活動でしたが、二日目は大洗水族館・海水浴

場と公共の場での活動となりました。学園生活とは違う環境の中、ここでも周囲を意識して行動することができ、貴重な体験となりました。

二日間を通して天候にも恵まれ、事故や怪我なく、宿泊学習を終えることができました。短い時間ではありましたが、生徒の普段と違った表情や協力する姿、成長のようすが見られ、大変有意義な期間でした。



☆生き物調査

九月七日

九月七日、合同運動会でもお世話になった沢地区の方々と環境保全活動の一環として学園の用水路に生息する生き物の調査を実施しました。生徒達は「どんな種類の魚がいるか?」「何匹いるか?」等思い描きながら、昔ながらの魚取りの仕掛けや網を使い魚を捕まえました。仕掛けには一五〇匹、網では三〇〇匹以上も捕まえることができ、多くの魚が生息していることがわかりました。この行事ではきれいな環境を守るこ

との大切さだけでなく、魚を捕まえる遊びの楽しさも感じることができました。



☆学園祭

九月二一日

九月二一日（金）、学園祭が実施されました。天候はあいにくの雨、当日に向け会場となるランチルーム・一寮庭周辺を中心に環境整備を進めてきましたが、前日、会場準備の段階で体育館での実施を決定しました。

体育館・ランチルームの各ブースで、事前に準備した装飾品を児童は楽しそうに飾り付けました。また、今までに経験のない接客に向けて、様々な場面を想定し、どのような受け答えがよいか熱心に練習するブースもありました。

一〇〇名を超える地域の方、前籍校や児相の方々等をお迎えし、緊張

した面持ちで接待しながらも、嬉しさを隠しきれない児童の表情は、成長の一端を感じることができました。参加いただいた方々のご協力に感謝いたします。



☆部活動報告☆

☆水泳部

八月二四日に栃木県立温水プールにて開催された関東少年水泳大会に男女水泳部全員で参加しました。六月にプール開きをしてから女子水泳部が発足、野球大会後にはすぐに男子水泳部も活動を始め、それからほぼ毎日泳ぎました。大会では、予

定者全員が出場し、一人も失格者もなく、泳ぎ切ることができました。結果は、男子自由形リレー、男子自由形一〇〇m、男子自由形二〇〇m、男子背泳ぎ一〇〇mの四種目で二位、男子自由形五〇m、女子平泳ぎ五〇m、女子個人メドレーの三種目で三位となり、大健闘の那須学園水泳部でした。

今回は萩野公介選手も練習していた、本格的な大きなプールでの大会であり、たくさんの方に注目されながら、緊張感の中で泳いだ経験は子供達にとっても、良い思い出になったと思います。会場に足を運んでくださった皆様、水泳部を応援して下さっていた皆様、本当にありがとうございます。



☆バレーボール部

一〇月二六日（金）に立川市で実施されるバレーボール大会に向けて、現在女子寮児童は練習に励んでいます。生活の場である寮・分校でしっかりと生活をして、全員で練習を積み重ねて行くことを基本としています。

また、習得したと感じる基本的な技術であっても丁寧に取り組み、起こりうるミスを最小限にしようと努力しています。更に、ミスがあったらお互いにカバーし合い、補い合えるチームを目指しています。

自己中心的な言動や行動で指導される児童も、バレーボールというスポーツを通して、チームの一員である役割を果たす喜びや、一人も欠かすことのできないメンバーであり、すべての部員に役割があるという自覚の中で悔いのない試合を体験させたいと思います。



☆吹奏楽部

六月から活動をスタートした吹奏楽部は、夏休みの基礎練習・パート練習に地道に取り組み、少しずつ合

奏らしくなってきました。一月に行われる関東少年文化祭では短めの楽曲を二曲演奏する予定です。まだまだ練習不足ですが、少しでも良い演奏ができるように、発表に向けて皆で頑張っています。

吹奏楽部の醍醐味は、児童と職員と一緒にできるというところにあると思います。一緒に練習していたつもりが、気づけば子供の方がずつと上達していたなんてこともしばしばです。それでも、共に練習して同じステージに立って共に演奏する—そんな時間を大切にしながら、まだまだ続く吹奏楽部の活動に励んでいきたいと思っています。



☆陸上部

中卒生二名、中三生二名、中二生二名の計八名で陸上部（長距離部）がスタートしました。八月までは水泳部をやっており、皆の取り組みが良く好成績を残せたことから、長距離走においても良い結果がでるのではないかと期待しています。また、今年のテーマは「20k走れる力をつける」と決めました。全員で自身に負けない力をつけたいと思っています。一月にはやいたたかは

らマラソンがあり、中卒生二名が早速、ハーフマラソンにチャレンジします。応援よろしく願います。

☆卓球部

今年も卓球部の監督を任せてもらうことになりました。今年も昨年度経験した子が数人残り、その子達に加えて経験者も新しく加わり、なかなかの期待出来るメンバーが揃いました。さらに今年分校に來られた教頭先生が本格的に卓球を指導されていた先生なので、練習の内容も過去とは比べようがないほど充実したのになっていきます。

今年こそ団体戦で二位以上を目指して最後まで子供達と一緒に頑張っていきたいと思っています！

☆番外編☆

☆中卒生の生活について

今年、中卒生は三人いますが、中卒生クラスとしてのカリキュラムをとらず、寮職員と作業指導や学習指導、生活訓練等を行っています。「今年目標は高校生になること」という思いを持つ者もいれば、「勉強がやだ、集中するのが苦手」と嘆いている者もいます。寮職員として、中卒生が苦手なことへも立ち向かっていけるよう引き続き、支援していこうと思っています。

今後の予定

- 一月 七日 関東少年文化祭
- 一月 二一日 陸上部 たかはらマラソン
- 一月 二二日 収穫感謝祭
- 一月 二七日 関東少年卓球大会
- 一月 九日 しおや湧水の里 マラソン大会
- 一月 二六日 クリスマス会
- 一月 八日 新年昼食会
- 一月 一一日 第一回スキー教室
- 一月 一八日 第二回スキー教室
- 一月 二六日 ふれあいコンサート
- 二月 八日 園内マラソン大会



編集後記

朝晩の肌寒さに季節の移ろいを感じる今日この頃ですが、那須学園の子供達は変わらずいろいろな活動に熱心に励んでいます。下半期も、クリスマス会などまだまだたくさんの方々の行事が控えています。子供達の勇姿を多くの方々に見ていただけたら幸いです。子供も大人も元気に頑張っていきたいと思います。

風邪をひきやすい季節でもあるので、皆様もお身体には十分気をつけてお過ごしください。

育成課

伊澤・早川・印南・松田